

## 松井孝充 「FJ1600 とスーパーFJ」

私はレーシングカートから 2006 年に FJ1600、2010 年にスーパーFJと 2つのカテゴリーに参戦しました。これらのカテゴリーはランニングコストがとても安価で、当時 18 歳で働きながらで参戦することができ、たくさん走り込みが必要な若い時にたくさん走ることができました。

そのおかげで当時、スカラシップを獲得することができました。



各サーキットでシリーズ戦があり、そして全国統一戦としての日本一決定戦で、そのカテゴリーで誰が一番速いのか決める戦いもあり、すごくやっていてワクワクするようなレースです。

セッティングもサーキットごとに変えたりと、その経験は今でも役に立っています。スーパーFJ ではコンセプトの部分では FJ1600 をそのままに、ウィングが装着されたことによるフォーミュラカーにとって欠かせないダウンフォースを使って走る勉強にもなりました。

両車両に共通しているのは 4 輪の走らせ方が詰まっていたブレーキングからターンインでしっかりとマシンの向きを変えるということです。これはフォーミュラカーであろうがツーリングカーであろうが変わりません。

これからステップアップを考えている方にとってはコスト面と走り込みができる量も考えるとすごく魅力的なカテゴリーではないかと思います。

ここで基本を身に着けステップアップを果たせば上に行っても通用するのではないのでしょうか。このカテゴリーにはカートからステップアップしたドライバーや、ずっと参戦しているベテランドライバーがいたり、バラエティ豊かなレースで勝ち抜くのも大変ですが、ここでのバトル経験もレースをやっていく上では大切な技術です。ですからこのカテゴリーで学んだことというのは今の自分のドライビングの基盤といっても過言ではありません。

レーシングドライバーを目指すにあたって、スーパーFJ というカテゴリーで勉強し、結果を残して FIA F4にステップアップすれば道は切り開けるのではないのでしょうか。